

～さがそうみらいプロジェクト～

キャリア教育だより

発行元：相模原市教育委員会キャリア教育推進チーム / 令和8年9月発行 No.3



本号では、市内の中学校区の1つである上溝中学校区に着目し、中学校区におけるキャリア教育の取組について、ご紹介します。

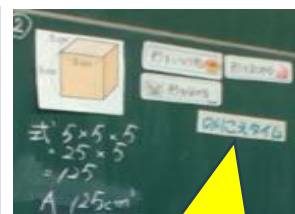
上溝中学校区は、上溝小学校、星が丘小学校、作の口小学校、上溝中学校の4校で構成された中学校区です。「夢や希望を持って未来を切り拓く力の育成、社会で自己実現する人材の育成」という目標を掲げて、キャリア教育を推進しています。

【上溝中学校区のキャリア教育のポイント】

- ①**授業づくりを軸とした取組**
- ②**「小中一貫の日」における創意工夫**
- ③**PDCA サイクルの確立**

①授業づくりを軸とした取組

上溝中学校区全体で重点的に育成する力は、「課題解決のために、よりよい方法を考え行動する力」と設定されています。育成のために先生たちは、授業中の課題を分かりやすく提示すること、子ども同士で学び合える授業にすること、授業を通して子どもの成功体験を積み重ねていくこと、などに取り組んでいます。授業の様子を見ると、黒板に課題が明確に書かれていたり、子どもたちが分からないことを解決するために、一生懸命学び合ったりしている様子などが伺えます。



「のりこえタイム」と
分かりやすく提示

②「小中一貫の日」における創意工夫

授業づくりを取組の軸としていることもあり、年に3回行う「小中一貫の日」では、小学校と中学校が1回ずつ授業公開をしています。授業後はあらかじめ編成された教科研究グループに分かれて、研究協議を行っています。

また、令和8年度の第2回目では初の取組として、上溝小学校の先生、以前上溝小学校に勤務していたカウンセラー、中学校区担当指導主事の3名をパネリスト、上溝小学校の事務局をファシリテーターとして、キャリア教育をテーマとしたパネルディスカッションを実施しました。



パネルディスカッション
の様子

③PDCA サイクルの確立

相模原市では、キャリア教育を通して育みたい力が身に付いたかどうかを評価し、次年度以降の教育に生かしていくことを大切にしています。上溝中学校区では子どもの日頃の様子を観察して実態を把握するとともに、全国学力・学習状況調査の質問（例：「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」）などの回答状況などを踏まえて、育みたい力の育成状況を評価しています。そこで出た成果と課題、考案した解決策などを、次年度の教育に生かしています。今年度は、子どもが既習事項を生かして学びを深められるようにすることを重点として、「課題解決のために、よりよい方法を考え行動する力」をさらに高めることをめざしています。

キャリア教育パンフレットをぜひご活用ください

相模原市内で行われているキャリア教育の取組をまとめた「相模原市キャリア教育パンフレット」を発行しました。ぜひご一読いただくとともに、保護者の皆様や地域の皆様への周知にもご活用ください。

※相模原市キャリア教育パンフレットは、市ホームページにも掲載しています。

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page/001/021/181/pamphlet.pdf

